

原子吸光光度計を  
安全に、安心してご使用いただくために

# 定期的な メンテナンス・点検を 行うことが大切です。



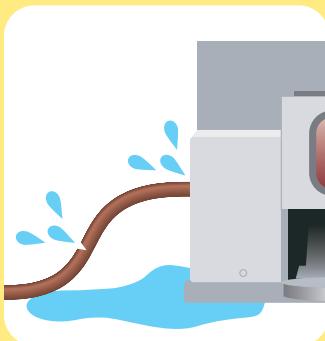
偏光ゼーマン原子吸光光度計 Z-2000シリーズ

稼動10年以上の装置はリプレースをお勧めします。

長期間メンテナンス・点検が未実施の装置では  
このような**不具合のリスク**があります！

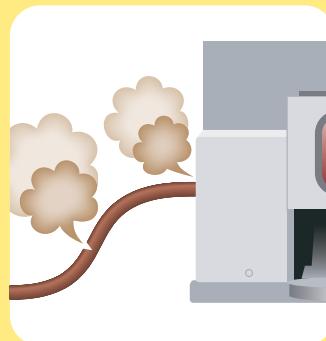
## 水漏れ

部品の推奨交換周期を超えて装置をご使用になると、ホースやパッキンの劣化による水漏れを発生させる恐れがあります。



## ガス漏れ

アセチレンガス流路に使用しているガス制御部、ホース、パッキンなどの劣化により、ガス漏れを発生する恐れがあります。



## 発煙

電源基板などに使用している電解コンデンサには寿命があります。寿命を過ぎると破裂の可能性が高まり、破裂した場合、内包する薬剤が飛散し発煙・異臭の発生、および周囲の部品を腐食させます。



お問い合わせ

詳細は弊社サービスエンジニアまでお問い合わせください。

◎ 株式会社 日立ハイテクフィールディング

分析装置部

〒105-6410  
東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズ ビジネススター  
<https://www.hitachi-hightech.com/hfd/>

お客様サポートセンター

**0120-203-813**

フリーコール

日立ハイテク会員制サイト(エスアイナビ)  
<https://biz.hitachi-hightech.com/sinavi/>